

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2005-517649(P2005-517649A)

【公表日】平成 17 年 6 月 16 日 (2005.6.16)

【年通号数】公開・登録公報 2005-023

【出願番号】特願 2003-550818(P2003-550818)

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 K 45/06
A 6 1 K 31/05
A 6 1 K 31/085
A 6 1 K 31/165
A 6 1 K 31/17
A 6 1 K 31/19
A 6 1 K 31/192
A 6 1 K 31/194
A 6 1 K 31/198
A 6 1 K 31/202
A 6 1 K 31/203
A 6 1 K 31/4412
A 6 1 K 31/455
A 6 1 K 31/60
A 6 1 K 31/7048
A 6 1 K 31/7056
A 6 1 K 33/04
A 6 1 M 21/02
A 6 1 P 17/02
A 6 1 P 17/04
A 6 1 P 17/06
A 6 1 P 17/10
A 6 1 P 37/08
A 6 1 P 43/00

【F I】

A 6 1 K 45/06
A 6 1 K 31/05
A 6 1 K 31/085
A 6 1 K 31/165
A 6 1 K 31/17
A 6 1 K 31/19
A 6 1 K 31/192
A 6 1 K 31/194
A 6 1 K 31/198
A 6 1 K 31/202
A 6 1 K 31/203
A 6 1 K 31/4412
A 6 1 K 31/455
A 6 1 K 31/60
A 6 1 K 31/7048
A 6 1 K 31/7056

A 6 1 K 33/04
A 6 1 P 17/02
A 6 1 P 17/04
A 6 1 P 17/06
A 6 1 P 17/10
A 6 1 P 37/08
A 6 1 P 43/00 1 2 3
A 6 1 M 21/00 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成16年8月16日(2004.8.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

哺乳動物の皮膚上に発生するアクネ疾患の数および重篤度を減少させる方法であって、抗アクネ剤を含む抗アクネ組成物の投与と併用して、哺乳動物の視床下部・下垂体・副腎系の活性を低く調整するのに有効な量で行う知覚的養生法を施すステップを含む、方法。

【請求項2】

前記抗アクネ組成物は経口投与または局所投与される請求項1記載の方法。

【請求項3】

前記抗アクネ組成物は局所投与され、前記抗アクネ剤はサリチル酸、硫黄、乳酸、グリコール酸、ビルビン酸、尿素、レゾルシノール、N アセチルシステイン、レチノイン酸、過酸化ベンゾイル、オクトピロックス、トリクロサン、アゼライン酸、フェノキシエタノール、フェノキシプロパノール、フラビノイド類、これらの誘導体およびこれらの混合物から選択される請求項2記載の方法。

【請求項4】

前記抗アクネ剤は過酸化ベンゾイル、サリチル酸およびこれらの混合物から選択される請求項3記載の方法。

【請求項5】

前記抗アクネ組成物は経口投与されかつイソトレチノインである請求項2記載の方法。

【請求項6】

哺乳動物の皮膚上に発生するアクネ疾患の炎症を改善する方法であって、有効量の抗アクネ剤を含む抗アクネ組成物の投与と併用して、前記哺乳動物の視床下部・下垂体・副腎系の活性を低く調整するのに有効な量で行う知覚的養生法を施すステップを含む、方法。

【請求項7】

哺乳動物の皮膚の色合いを改善する方法であって、有効量の抗アクネ剤を含む抗アクネ組成物の投与と併用して、哺乳動物の視床下部・下垂体・副腎系の活性を低く調整するのに有効な量で行う知覚的養生法を施すステップを含む、方法。

【請求項8】

抗アクネ組成物の投与と併用して、哺乳動物の視床下部・下垂体・副腎系の活性を低く調整するのに有効な量で行う知覚的養生法を施すステップを含む皮膚疾患の治療方法であって、(a)哺乳動物のアクネ疾患の数および重篤度を減らし、(b)哺乳動物のアクネ疾患の炎症を改善し、(c)哺乳動物の皮膚の色合いを改善するステップのうち、少なくとも2つを含む、治療方法。

【請求項9】

ストレスを減らしかつアクネ罹患者の精神的健康を改善する方法であって、抗アクネ組

成物の投与と併用して、哺乳動物の視床下部・下垂体・副腎系の活性を低く調整するのに有効な量で行う知覚的養生法を施すステップを含む、方法。

【請求項 10】

前記ストレス関連皮膚疾患は、慢性ストレスによって引き起こされる請求項 9 記載の方法。

【請求項 11】

ヒトの皮膚上に出現した視覚的光沢を減らす方法であって、ヒトの視床下部・下垂体・副腎系の活性を低く調整するのに有効な量で行う知覚的養生法を施すステップを含む、方法。

【請求項 12】

皮脂の排出量を減らす方法であって、抗アクネ組成物の投与と併用して、哺乳動物の視床下部・下垂体・副腎系の活性を低く調整するのに有効な量で行う知覚的養生法を施すステップを含む、方法。

【請求項 13】

抗アクネ生成物の適応性を高める方法であって、抗アクネ組成物の投与と併用して知覚的養生法を施すステップを含む、方法。